車載マーケットプレイス分析:ユースケースおよび決済(～2025 年)

【概要】
本調査では、車載マーケットプレイス事業の分析をベースに関連する新しいビジネスモデルを紹介します。コネクテッドサービス、小売り商品とサービス、および今後業界形成の主役となるオンデマンド（FoD）を組み合わせて分析しています。具体的には、2019 年のマーケットプレイスアプリケーションの総収益と 2025 年の見込み、自動車業界における車載マーケットプレイスのユースケースの比較をベースに現在と今後価値を獲得するもの、自動車業界で今後価値を生み出す販売業者の事業や商品・サービス、車載マーケットプレイスに注力する国とアプリケーションの進化、現在検討される価格設定モデルの種類、ビジネスモデル別売買取引の見込み、関連ステークホルダー、成功に必要なパートナーシップなどを説明しています。調査対象地域は北米、調査対象期間は 2025 年までです。

【内容一覧】
エグゼクティブサマリー
調査の範囲、目的、背景、手法
車載マーケットプレイスに関連する市場と技術の動向
- 車載マーケットプレイスのエコシステム
- これまでの車載マーケットプレイスアプリケーション
- エコシステムの提携
- 車載マーケットプレイスでの OEM ポジショニング
- 既存の仮想アシスタントと車載マーケットプレイスの概要
- 技術要件

車載マーケットプレイス：ユースケース
- 外出先での小売サービス
- 新しいユースケースに応じた小売サービス
- ユースケース 1：マーケットプレイスとしての車
- カスタマージャーニー：GM Marketplace アプリ
- ユースケース 2：仮想アシスタントとしての車
- ケーススタディ：自動車用 Amazon 社の Alexa
- カスタマージャーニー：Ford 社と Amazon 社の Alexa
- ユースケース 3：アクセスポイントとしての車
- 既存の配送サービス

- ケーススタディ：Amazon Key、車載パッケージ配達
- ケーススタディ：Filld、自動車への燃料配送
- ユースケース 4：移動ミニコンビニとしての車
- ケーススタディ：DriveCargo 社と UBER 社
- 価格モデル

車載マーケットプレイスを提供する OEM

- 既存のアプリケーション
- 今後のアプリケーション
- 既存および今後の OEM の音声/仮想車載アシスタント
- ケーススタディ：General Motors 社の Marketplace アプリケーション
- コンセプトケーススタディ：ホンダのドリームドライブアプリケーション
- ケーススタディ：Mercedes Benz 社の車載マーケットプレイスアプリケーション

プラットフォームプロバイダー

- プラットフォームプロバイダーの概況
- 技術提携カテゴリ
- 既存の仲介パートナー
- ケーススタディ：プラットフォームプロバイダーとしての Xevo 社
- ケーススタディ：プラットフォームプロバイダーとしての Connected Travel 社
- コンセプトケーススタディ：プラットフォームプロバイダーとしての Dashero 社
- ケーススタディ：Telenav 社の Vivid In-Car Commerce（ICC）
- ケーススタディ：Sirius XM 社の Travel Link
- ケーススタディ：Tantalum 社
- コンセプトスタディ：Tencent 社および WeChat 社
- ナビゲーション統合開発
- 仲介パートナーランキング

支払いの種類と仕組み

- 車内決済方法
- 車内支払いが選択される理由
- ケーススタディ：Visa 社

車載マーケットプレイス：市場規模

- 車載小売事業の範囲
- TAM の規模調査
- OEM の貢献
- アクティブユーザーの浸透
- 年間推定平均価格
- 一台当たり推定平均燃料価格

- 一台当たり推定平均駐車場価格
- 一台当たり推定平均食料価格
- 一台当たり推定平均料金支払額
- 車載マーケットプレイスの収益予測
- 自動車市場における OEM のマーケットプレイス
- 自動車ビジネスモデルにおける決済別マーケットプレイス
- 集中化の価値

成長機会

結論と今後の見通し

付録

"